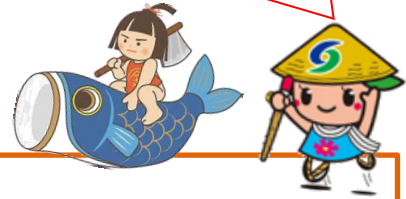


# NSTだより

さめき市民病院  
NST&嚥下治療センター  
発行:2018年5月 VOL.20

今月の編集担当：  
嚥下治療センター



## 誤嚥性肺炎 ～なぜ口腔ケアが必要なのか～

現在、肺炎は日本人の死亡原因の第3位であり、肺炎による死亡の約95%以上が65歳以上の高齢者であり、その大部分が誤嚥性肺炎であると報告されています。

誤嚥性=食べたもの・飲んだものが気管から肺へ入ることによる肺炎と思われがちですが、

誤嚥性肺炎は、寝ている間に作られる！！

とも言われています。食べ物だけではない！！それはなぜか？

睡眠中は、嚥下反射といわれる「ごっくん」が起こらない

唾液がのどに溜まった状態になる

溜まった唾液が気道へ流れ込んでしまう

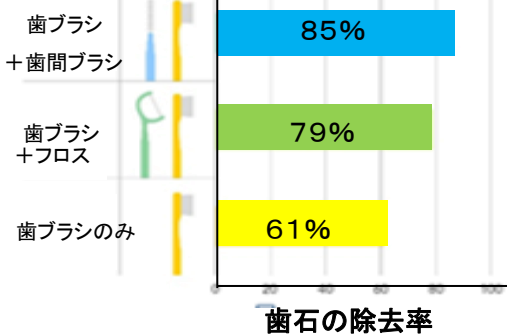
その唾液の中にたくさんの細菌がいて、細菌も気道に流れ込む

高齢者は咳が十分にだせなかったり、体の免疫力が低下していることが多い

誤嚥性肺炎発症！！

したがって、口腔内の細菌を減らすことが重要！

### 歯垢を除去するための補助清掃器具について



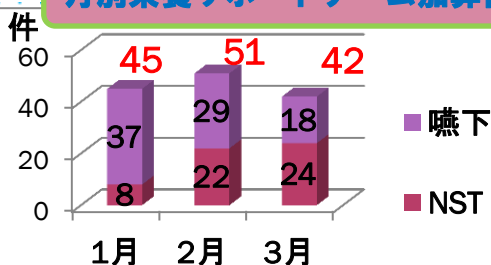
誤嚥性肺炎の原因となる口腔内細菌を増やさないためには、虫歯や歯周病を予防することが重要です。それには、細菌の塊である歯垢（プラーク）を歯の表面からきれいに除去することが必要です。丁寧な歯磨きも重要ですが、歯ブラシだけでは60%程度しか除去できないといわれています。そのため、「歯間ブラシ」などの補助清掃器具を併用することが必要になります。



- 歯間ブラシ・・・歯と歯の隙間や、ブリッジの隙間部分の清掃に適しています。
- フロス・・・歯ブラシで磨ききれない歯と歯の間のプラークや食べかすの除去に使用します。
- ワンタフトブラシ・・・短い毛先のついた小さな歯ブラシです。一番奥歯の裏側の面にもブラシが届きます。局所によく磨きたいところなどに重宝します。

編集担当：耳鼻咽喉科 山本医師、歯科衛生士 植村実千代、谷西かおり、池田光美

### 月別栄養サポートチーム加算件数



2017年度は804名の方に回診し、640件の算定をとりました。

### ●第33回日本静脈経腸栄養学会に参加！



2018年2月22～23日までの2日間、柴田看護師、白井看護師、西畑看護師が東京で開催された日本静脈経腸栄養学会に参加しました。また、柴田看護師、西畑看護師、梶川臨床検査技師は、徳島大学で40時間の研修を終え、NST専任メンバーとしてこれから活躍してくれます！